



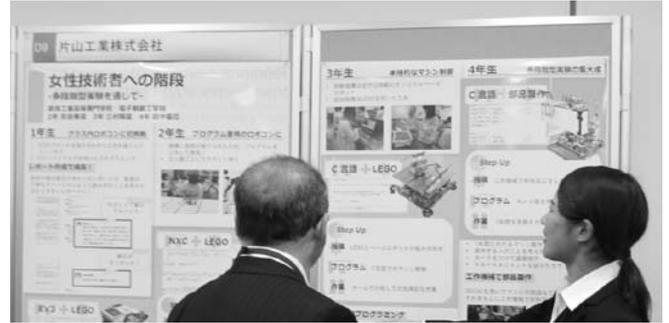
高専女子フォーラムに参加して

高専女子フォーラムを通しての経験

電子制御工学科4年 田中 優花

私は今回のフォーラムで、女子中学生とその保護者の方、そして企業関係者の方々に向けて電子制御工学科で受講している多段階型実験についてのポスター発表を行いました。自らポスターを作成し発表することで、多くの方々に私たちが取り組んでいることについて伝えられたほか、私たちが持っている強みや成長した点について振り返り、考えるきっかけとなりました。

女子フォーラムでは3回目の発表でしたが、ポスターを作るとき、発表練習をするとき、そして本番に発表をす



るときと、フォーラムに向けてのすべての過程が貴重な経験であると感じています。次年度のフォーラムでは、この経験をより多くの方々と共有していきたいです。



物質化学工学科3年 岡田 香里
笠原 海帆
小出 ゆり

12月23日に大阪府立大学で2015年度高専女子フォーラムが開催されました。私達は、女子中学生・保護者、企業の方に教育や研究、学生生活等についてのポスター発表を行いました。また、企業の方による女性技術者の活躍や男女共同参画の取り組みについての発表を聞きました。このフォーラムは、今までの学生生活を振り返り、将来について考えるととてもいい機会になりました。



奈良高専も地方創生に取り組むことになりました

～地域をささえる人材の輩出のために～

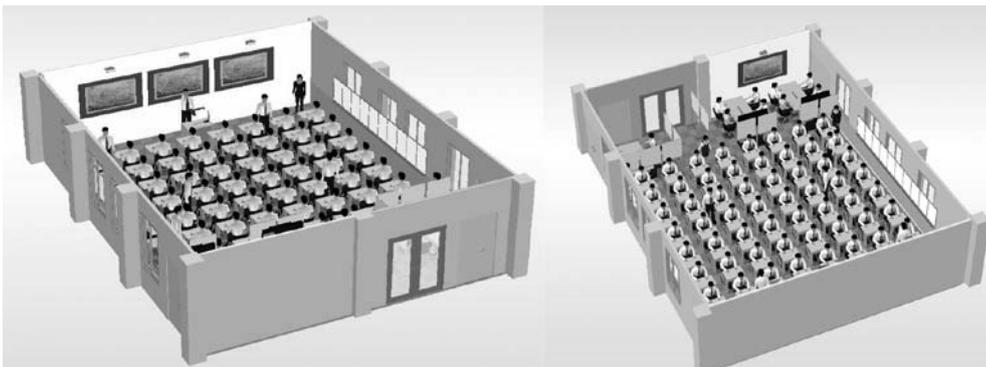
この度、本校は、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。COC+とは、地方創生の中心となる人材の地方への集積を目指し、学生にとって魅力ある就職先の創出・開拓や、地域が求める人材を養成する教育を、地方自治体や地元企業などと共同で実施する事業です。本校は、奈良女子大学と「共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト」に取り組むことになりました。この事業では、まず、地域創生を志向した人材を養成する「地域創生マインド養成教育プログラム」を実施します。具体的には、学生が、地域創生に関

COC+事業推進責任者
電気工学科 教授 藤田 直幸

する使命感を持つこと、学習過程で地域の優良企業等と会うことや地域企業で活躍できる場を発見することを目的として、地域創生理解科目、地域創生演習科目、地域創生実践科目の3つの科目群を開設する予定です。

また、地元企業や自治体などのニーズに応えるための研究開発拠点である地域創生研究センター“TOMO”を設置します。このセンターには、福祉ロボット、医工連携・地域包括ケア、スマートシティ、農工連携、環境の5つの研究クラスターを設置し、①奈良県の地域産業の支援・創出、②農林業の振興、③医療・福祉の充実、④防災・危機管理の解決に貢献します。

今年度は、教育プログラムに使用する教室の整備と研究クラスター基本設備の整備を行います。この事業を通じて、本校が奈良県の発展に寄与できる人材を養成できるように取り組んでいきたいと考えています。



COC+で改修予定の大講義室イメージ 前方、後方は全面ホワイトボードでプロジェクター投影可能

